

学術資源リポジトリ協議会の活動の展開(続報): 試行から事業への展望

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/40217

学術資源リポジトリ協議会の活動の展開(続報)～試行から事業への展望～

高田 良宏*1, 林 正治*2, 堀井 洋*3, 堀井 美里*3, 山地 一禎*4, 上田 啓未*1, 古畑 徹*1

(*1 金沢大学, *2 一橋大学, *3 合同会社AMANE, *4 国立情報学研究所)

yoshihiro@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

概要 資料館でも利用できるリポジトリの構築を目指した金沢大学資料館 Virtual Museum プロジェクトに端を発した学術資源リポジトリ協議会は、大学の枠組みを超え機関横断的な学術資源リポジトリの実現のために、学術資源情報の共有・公開・活用に関する議論と試行を行う「場」として活動してきた。これまでは「試行」として実施してきたが、今回の一般社団法人化(2014年9月26日)を機に、今後は大学や民間、地方公共団体等の組織と連携し、「事業」として展開する。

試行と情報交換の「場」

VMプロジェクト

金沢大学 Virtual Museum Project(通称, VMプロジェクト)

規模の小さい資料館などで有効な、所蔵資料の**データベース機能**と

Web上での**仮想展示機能**を有した

非文献資料リポジトリの構築と運用

<http://kuvvm.kanazawa-u.ac.jp/>

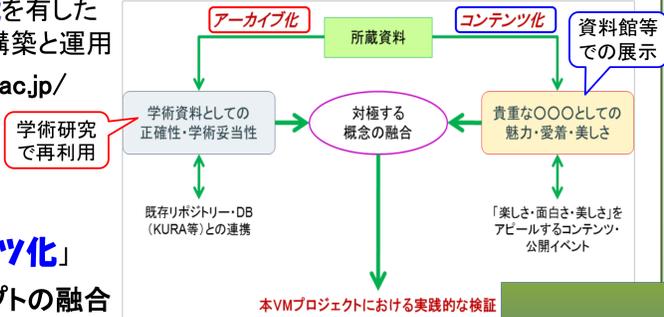
基本コンセプト

学術資料の

「**アーカイブ化**」と

「**展示公開・コンテンツ化**」

2つの対極にあるコンセプトの融合



VMプロジェクト⇒研究会⇒協議会

■ **2009 (平成21年) VMプロジェクト活動開始**

■ **2011 (平成23年) 非文献資料リポジトリ研究会活動開始**

VMプロジェクトに関わっている研究者・実務者を中心に、非文献資料に興味を持つ者が集まり、研究会を立ち上げ活動。

■ **2012 (平成24年) 学術資源リポジトリ協議会設立**

同年6月開催の大学博物館等協議会・博物科学会の開催に合わせて設立総会を実施。

学術資源情報の共有・公開・活用に関する**議論と試行を行う『場』**と人的ネットワークを創出することを目的として活動

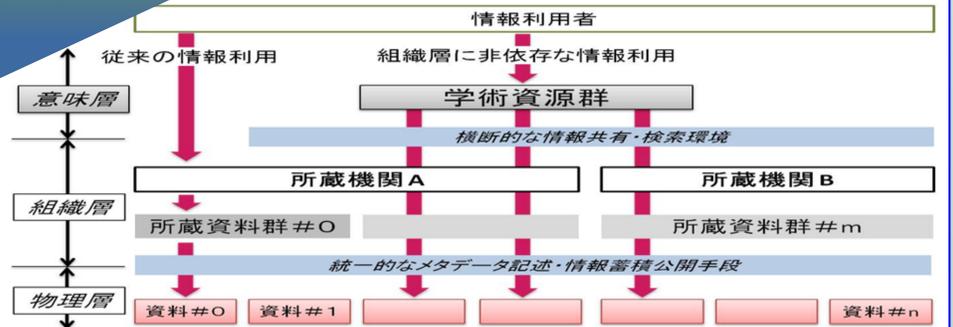
試行から事業へ

一般社団法人化

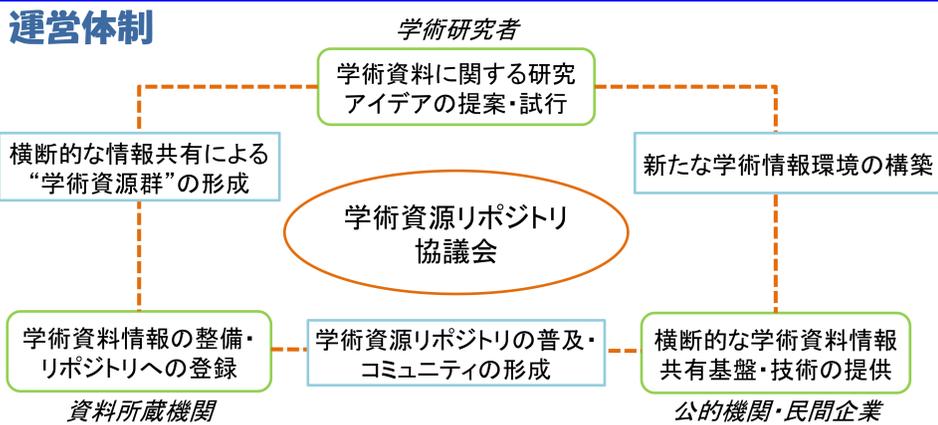
法人化の目的 ■ **2014年9月26日、一般社団法人に移行**

- (1) 組織・分野を横断した学術資料情報の共有のためのサービスの提供
- (2) 学術資源リポジトリの実現と普及に向けた活動
- (3) 学術情報及び関連する専門知識を活用した社会貢献活動の実施

中長期的な学術情報集積・発信活動の実現



運営体制



公開中の資料情報

[明治～昭和期科学実験機器資料]

- 新潟大学所蔵: 20点
- 神戸大学所蔵: 21点
- 東京大学駒場博物館所蔵: 22点
- 石川県立自然史資料館蔵: 747点
- 大阪教育大学附属図書館所蔵: 3点

[明治～昭和期教育掛図資料]

- 石川県立自然史資料館蔵: 126点
- 奈良女子大学附属図書館: 約200点



例 金沢大学蔵 教育掛図



学術資源のリポジトリ化の手順 (資料調査から公開までのプロセス)

A. 資料調査・分析

資料所蔵状況の把握

資料目録の収集

実体資料の調査・整理

中間メタデータ

B. 高付加価値メタデータ生成

資料情報の評価・認証

資料粒度・形式の調整

固有IDの付与

関連資料の整理

最終メタデータ

C. デジタルデータ生成

資料デジタルデータの生成 (画像等)

デジタルデータ

リポジトリ登録・公開

D. 組織間連携・渉外・契約

所蔵機関との交渉・調整

公開に関する合意・権利処理等

ライセンス・公開条件

一般社団法人学術資源リポジトリ協議会 <http://www.repon.org/>

【連絡先】事務局: E-Mail: info@repon.org

本研究の一部は、JSPS科研費(基盤研究(B)24300310, 挑戦的萌芽研究25560140), JSPS課題設定による先導的人文・社会科学推進事業「地域に現存する学術資料を活用した地域学術観光創出に関する研究」によるものである。